

平成26年9月28日  
今週のベストショット



雁レク軟式11 レッドサンデーズ 対 奈多フェニックス戦

2-2で迎えた六回表、監督から「初球から狙って行け」と耳打ちされて、初球を勝ち越し2ランのレッドサンデーズ七番荒口捕手。フェニックス打線を3点に抑えるリードも冴えた。

写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭

青松園B ジャガーズ20得点で大勝！

塩浜ジャガーズ（4勝7敗）180110 20 内田○-橋村

三苦フレンズ（0勝11敗）00330 6 阿久井、生野（拓）●-御手洗、佐藤

HR：竹尾、内田、荒木（塩浜ジ） 3BH：生野（三苦フ） 盗塁：内田、荒木（塩浜ジ）

リーグ戦も佳境となり、勝ち星を一つでも多く重ねたい塩浜ジャガーズと今季初勝利を挙げたい三苦フレンズとの戦い。一回表先攻ジャガーズが1点を先制。このまま投手戦で進んで行くかと思っていた二回表、フレンズ先発阿久井投手が四球、WPを連発。途中で生野（拓）投手にスイッチし且つ守備も大幅変更し、何とか抑えるも大量の8失点を喰らう。しかし、フレンズは三番生野（拓）選手の三塁打や四番佐藤選手のセンター前へのクリーンヒット、さらには相手のミス等も重なり計6点を返す。この時点で10-6とし、まだまだ反撃の余地が残されていたフレンズであったが、最終回に守備の甘さが目立って10失点を許してしまい、完敗を喫した。ジャガーズは残り二試合に弾みをつける勝利となった。また、今試合、ベンチで観戦していた子どもにファウルボールが頭に当たる場面があった。ボールは木に当たりいくらか失速していたためか惨事にはならなかったが、子どもを座らせる場合は細心の注意を払う必要がある。（写真、記事：新町パイレーツ 安部貴大）





ジャガーズ先発の内田投手。



フレンズ先発の阿久井投手



一回表、レフト前を放つジャガーズ一番竹尾選手。



インコースの難しい球を上手くセンター前へ運ぶ荒木選手。



ゴロを捌くフレンズ肥喜里三塁手。



三塁打を放ったフレンズ生野（拓）選手。HRじゃなくて少し不服そう？



今試合2打点 フレンズ四番佐藤選手。



## 青松園A 息詰まる熱戦！ウインズが勝利！

ソルトベイスターズ（3勝9敗）0000000 0 鶴野●ー酒井

新町ウインズ（6勝5敗2分）001002X 3 藤田○ー今林

HR：藤田（新町ウ） 3BH：酒井（ソルト） 盗塁：安藤（一）、有田（新町ウ）、八柄（ソルト）

新町ウインズは藤田投手、ソルトベイスターズは鶴野投手の先発で試合は始まった。初回、二回と藤田投手、鶴野投手とも二塁を踏ませない順調な滑り出しを見せる。三回裏、一死からウインズ九番安藤（一）選手がショート前に落とす内野安打で出塁すると得意な足を使い二塁まで進む。ここで一番桐島（司）選手がセンター前にボールを落としチャンスを広げる。そして桐島選手が盗塁し二三塁とすると二番長岡選手がライトに犠牲フライを打ち安藤（一）選手が返り1点を先制！四回表ソルトベイスターズは先頭打者八柄選手がセンター前ヒットで出塁すると盗塁で二塁まで進み、同点のチャンスとなった。しかし、三番、四番が倒れ、二死二塁となりここまでかと思われたが五番鶴野選手が打席に入り左中間に大きな打球を放つ。同点なるかと思われたがウインズセンター桐島（司）選手がこの打球を好捕！ベイスターズは同点にすることが出来なかった。四回裏ベイスターズ鶴野投手はウインズを三人で打ち取り、味方の反撃を待つ。五回表、ベイスターズは七番酒井選手が左中間を破る三塁打を打ち一死三塁と再び同点のチャンスとなる。しかしここは藤田投手が踏ん張り、続く二者を三振に封じ、得点を与えなかった。ウインズは四回から代打攻勢に転じ、六回裏、一死から代打有田選手がエラーで出塁すると盗塁で二塁に進む。二死になって五番藤田選手が打席に入ると、ライトオーバーの2ランHR！特望の追加点が入った。なんとかしたいソルトベイスターズだったが七回表は三者凡退に終わりゲームセットとなった。9奪三振と2ランHRの藤田投手の活躍と守備が堅く数少ないチャンスに得点を上げたウインズが勝利したが、藤田投手と鶴野投手の好投で見応えのあるいい試合だった。（記事：三友クラブ駄原孝一郎、写真：大坪和則）



ウインズ先発の藤田投手。



ソルトベイスターズ先発の鶴野投手。



一回表、ライト前ヒットを放つソルト中村（耕）選手。



二回裏、レフト前ヒットを放つウインズ泉選手。





三回表、惜しくもショートライナーのソルト中村(健)選手。



三回裏、先制のきっかけを作ったウインズ安藤(一)選手。



三回裏、先制のライト犠牲フライを放つウインズ長岡選手。



四回表、センター前ヒットを放つソルト八柄選手。



四回裏、大飛球を好捕するウインズ桐島(司)中堅手。



五回表、左中間へ三塁打を放つソルト酒井選手。



七回表、粘りのバッティングを見せるソルト石井選手。



投打に大活躍のウインズ藤田投手。



## 雁レク軟式11 手に汗握る投手戦、制したのはレッド荒口選手の一振り！

レッドサンデーズ（8勝3敗0分）000202 4 江口○ー荒口

奈多フェニックス（5勝4敗1分）000201 3 池見●ー実延（新）

HR：荒口（レッド） 3BH：沖（奈多フ） 2BH：池見（奈多フ） 盗塁：神田2（レッド）

奈多フェニックス先発は池見投手、レッドサンデーズ先発は江口投手と好投手同士の対決。三回まで両投手とも無失点の好投だったが、四回に試合は動く。四回表レッドの攻撃は一死から三番嶋村選手がヒットで出塁。続く四番八島選手がライトのエラーで出塁し、一死一二塁のチャンスを作った。続く五番神田選手が見事右中間へタイムリーヒットを放ち、レッドが先制をする。その後も八番田浦選手の四球押し出しで1点を追加し、この回2点を先制した。しかし、フェニックスも連打で2点を返すすぐさま同点に追いつく。六回表、円陣を組んで勝利への執念を見せるレッド先頭の五番神田選手が死球で出塁。六番前田選手が三振に倒れるも、一死二塁のチャンスで打席に立つ七番荒口選手。その初球を見事に左中間へ2ランHRを放ち、2点を勝ち越す。しかし、その裏フェニックスも意地をみせる。二死ながらも二、三塁のチャンスをつくり、打席には前打席で三塁打を放っている七番沖選手。見事ショート砂場選手のグラブを弾いてレフト前タイムリーを放ち、1点を返す。しかし反撃もここまで。スコアをみると両チーム四回と六回にしかヒットが出ていない。チャンスから着実に点を重ねていったレッドサンデーズが勝利を手にした。これに対し、フェニックスは後一本が出なかった。

（記事：雁ノ巣ライナーズ 明瀬旭、写真：池内史彦）



打撃好調のレッド一番江口選手。



レッド先発の江口投手と砂場遊撃手の一二番コンビ。



懸命に伸びて送球を受けるレッド神田一塁手。



四回表、先制のホームを踏むレッド嶋村選手。



六回表、勝ち越し2ランを放ったレッド荒口選手。



六回裏二死からチャンスを広げるフェニックス池見選手。

### 奈多グラウンド ホーネットスの5割打者カルテットの2人が絶好調！

三苫ホーネットス（8勝1敗1分）4 1 0 3 0 8 矢野○ー広木

三苫三球会 （6勝4敗0分）0 0 0 0 1 1 原口、大津●ー藤澤

3BH：今田（三苫ホ） 2BH：松尾、塚（三苫ホ）

5割打者4人を要するホーネットス打線と、東区壮年ソフトボール大会を制した三球会吉留投手の対戦！と思われたがエース不在の中、先発は原口投手。ホーネットスは若きエース矢野投手で試合開始。一回表、ホーネットスの攻撃はここ数試合に調子をあげてきている山崎選手がピッチャー強襲安打にて出塁。続く稲葉選手はデットボール、三番矢野選手は足をいかしたバントヒット、いきなりノーアウト満塁のチャンス！ここで一発のあるこちらでも若き主砲・広木選手だったが、いい当たりのライトライナーにてワンアウト、今年のホーネットスはこのあとの五番、六番に5割打者が控えている。前期より衰え知らずの松尾選手がまずはセンターオーバーのツーベースヒット。続く今田選手がこれまたレフトオーバーの三塁打にて一挙に4点を先取。一回裏、三球会は二死ランナー無しより、三番浜口選手がライトライナーの強烈な打球をライト松尾選手が超ファインプレーにて死守。二回表、塚選手がライト横ツーベースヒットを放ち、1点追加。何とかしたい三球会だが、二回から五回まで矢野投手を打ち崩せず、ヒット1本に抑えられる。一方のホーネットスは四回には四番広木選手の打球をレフト船橋選手が痛恨のトンネル、3点をくわえ、五回終了時点8-0と暗雲がたちこめる。流れを変えたい三球会は、五回より原口投手に代えて、好打者の大津選手をピッチャーへ！ホーネットス打線を五回、六回0点におさえるナイスピッチングを見せた。そして迎えた最終回三球会の攻撃は、ベテラン山崎選手が意地のセンター前ヒットにて出塁、二死のあと、一回表に痛烈な打球を放った三番浜口選手が、お返しとばかりのライト前に落ちるヒットにて1点を返す！しかし続く四番塚太一選手はライトフライに倒れゲームセット。結果、矢野投手の前に三安打のみに抑えられ、首位ホーネットスを倒す事ができなかった。それにしても、ホーネットスの5割カルテットに加え、矢野投手の防御率は完全に試合を制していました。三球会は、エース不在は痛かったが、大津選手は内野手の要ではありますが投手としてもまた見てみたい内容でした。（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：井手翔一郎）



一回表、松尾選手のセンターオーバー二塁打。



一回表、ホーネットス稲葉選手が先制のホームイン。





一回裏、三球会浜口選手の痛烈なライトライナー！



二回表、ホーネットス塚選手の二塁打！



五回表、流れを変えたい三球会大津投手！



六回裏、三球会浜口選手のライト前ヒットにて1点！



六回裏、2度目のファインプレーならず、松尾選手！



5割カルテットの二人！今田選手と松尾選手！

## 第21週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第21週、9月28日は4試合が行われました。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対三苦フレンズ戦は、初回に1点を先制したジャガーズが、相手投手の制球力の乱れから二回に一挙8点を奪うと、四回には荒木選手、五合いには武雄選手、内田選手にHRが飛び出し、大量20点。フレンズも相手投手の四死球で三、四回に3点ずつ取るも、失点が大きすぎた。終わってみれば、20-

6でジャガーズ圧勝。

青松園Aのソルトベイズ対新町ウインズ戦は、右の剛腕ウインズ藤田投手と、左の技巧派ソルト鶴野投手のお互い持ち味を存分に発揮した投手戦。体は小さいが俊足巧打のウインズ安藤一歩樹（いぶき）選手の内野安打を一番桐島選手がタイムリーを放ち均衡を破ると、六回には好投していたウインズ藤田投手の自分自身で楽にする2ランをライトに放ち、0-3として勝負あり。3安打完封、2ランのウインズ藤田投手が目立った試合だった。ソルトは唯一三塁までランナーを進めた五回などホームが遠い試合だった。

雁レク軟式11のレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、三回まで0行進の両チームだったが、四回表レッドは久しぶり出場の五番神田選手のセンター前タイムリーと押し出しで2点。しかしフェニックスも二死から打ち取ったはずの2本のライトへの当たりがことごとくヒットとなり同点。最終六回表、円陣を組んで勝利に執念をみせたレッドは、頼れる七番荒口選手が監督の助言通り初球を左中間へ2ラン。その裏フェニックスは二死から粘りを見せるがレッドが4-3で逃げ切った。この試合、フェニックス池見投手とレッド砂場遊撃手の親子対決では、ことごとく池見投手が貫録を見せつけたが、試合は息子のレッド勝利だった。来年以降もこの対決は見物だ。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対三苦三球会戦は、三球会はエース府不在で今シーズン調子のいい原口投手が先発。しかし、現在首位争いを演じているホーネッツには通じず、初回から5安打4失点を喫すると、三回までに8失点。一方ホーネッツ先発矢野投手は、その速球を活かし、完封ペースだったが、最終回に1失点するも8-1でホーネッツ貫録の勝利。チーム打率トップのホーネッツは、難関と思われた三球会に勝利し、いよいよ悲願の優勝に向けてラストスパートに入った。

アジア大会で女子ソフトボールが決勝で台湾を6-0で下し、史上初の4連覇を飾った同じ日に、福岡ソフトバンクホークスが3年ぶりのパ・リーグ制覇を達成。

ここ10試合で1勝9敗と散々でした。

しかし、最終戦の地元ヤフオクドームでの二位オリックスとの直接対決で、選手会長・松田選手のサヨナラヒットで優勝をもぎ取りました。

誰が打っても優勝を決するこの場面で、選手会長に打席が回るなんて。

そして2ストライクと追い込まれながらも期待に応えた松田選手会長は見事です。

こういった状況では、技術より気持ちでしょうね。

WSLでも同じような場面で力を発揮できる心の強さを身に着けたいものです。

そういった強さが結集したその先に、優勝はあります。

人は簡単に「奇跡」と言うかもしれませんが、私はそれを呼び込む強い気持ちの積み重ねを「氣積」と呼ぶんだと思います。